

中学地理プリント (過去問類似)

関東地方

名前

得点

/7

問1 長野県に隣接する4つの県（北側の新潟県、西側の岐阜県、東側の群馬県、南東側の山梨県）について述べた文として正しいものを選びなさい。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 群馬県と山梨県の2県は、県名と県庁所在地の名称が異なっている。
2. 4つの県はすべて、県名と県庁所在地の名称が一致している。
3. 新潟県と群馬県の2県は、県名と県庁所在地の名称が異なっている。
4. 岐阜県のみが、県名と県庁所在地の名称が異なっている。

問2 関東平野の台地に広がる関東ロームの層において、古くから稲作よりも野菜などの畑作が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)

1. 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。
2. 河川が運んだ泥でできた粘土質の土壌で、水持ちが良すぎて稲の根が腐りやすい。
3. 海岸近くの砂地が隆起した土壌で、塩分を多く含んでいるため稲の生育が妨げられる。
4. 有機物を多く含んだ黒い土壌で、地力が強すぎて稲の茎ばかりが成長してしまう。

問3 日本の大都市圏では、都心部と周辺部の間で人口の移動が激しく、統計上の指標に大きな差が生まれます。東京都のように、昼夜間人口比率が100%を大幅に超え、周辺地域から多くの人々が流入する要因として、最も適切な背景はどれですか。 (2021年 徳島公立入試 類似)

1. 政治や経済の中枢機能が集中し、就業や通学の機会が多いため
2. 広大な農地が確保されており、農業従事者の流入が多いため
3. 住宅価格が安く、周辺の県から移住する子育て世帯が多いため
4. 豊かな自然環境を求めて、老年人口の転入が急増しているため

問4 群馬県沼田市付近の地形図から読み取れる情報について説明した次の文章のうち、地形の成り立ちや特徴と矛盾しない正しい説明はどれですか。なお、この地域を流れる片品川は北東から南西に向かって流れています。 (2022年 兵庫公立入試 類似)

1. 沼田駅付近から北東にある沼田城跡（公園）に向かうには、等高線が密集している急な斜面を登る必要がある。
2. 地形図上の等高線の間隔が非常に広がっている場所に、沼田駅と沼田城跡を結ぶ急峻な崖が存在している。
3. 片品川は標高の高い南西方向から、標高の低い北東方向に向かって、段丘の斜面を駆け上がるように流れている。
4. 洪水による浸水リスクを避けるため、沼田市役所や警察署などの主要な公共施設はすべて片品川沿いの低地に集中している。

問5 千葉県浦安市付近の地形図を用いた地域調査において、河川沿いに位置する「建物が密集し、細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る地区」を調査対象としました。このような地区の景観や土地利用に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)

1. 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区
2. 近年、大規模な再開発によって計画的に整備された新市街地
3. 高度経済成長期以降に海を埋め立てて造成された工業地帯
4. 等高線が密に描かれる、傾斜地の森林を切り開いた住宅地

問6 東京都における渋谷区のような都心部と、八王子市のような郊外の状況を比較したとき、郊外で人口が増加する主な要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、都心部は地価が極めて高く推移しており、郊外は地価が低く安定しているものとします。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 都心部と比較して郊外は地価が安いいため、住宅を求める人々が流入しやすいから。
2. 都心部と比較して郊外は地価が高いため、資産価値を求める人々が流入しやすいから。
3. 都心部は郊外よりも利便性が低いため、地価に関わらず人々が郊外へ避難するから。
4. 都心部と郊外では地価に差がないが、郊外の方が大規模な商業施設が多いため。

問7 日本の貿易における輸出拠点の統計データにおいて、成田国際空港は名古屋港などと並んで常に上位に位置しています。この空港から輸出される製品の特徴として最も適切なものを、次の説明の中から選びなさい。 (2021年 香川公立入試 類似)

1. 重量があり船舶での輸送が適している鉄鋼や大型の工作機械。
2. 世界各地へ専用の運搬船を用いて大量に輸出される自動車。
3. 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。
4. 価格が安く大量輸送が前提となる、海外から輸入された衣類や日用雑貨。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 群馬県と山梨県の2県は、県名と県庁所在地の名称が異なっている。	長野県に隣接する県のうち、新潟県（新潟市）と岐阜県（岐阜市）は県名と県庁所在地が同じです。一方で、群馬県の県庁所在地は前橋市、山梨県の県庁所在地は甲府市であり、これら2県は県名と県庁所在地の名称が異なります。中部地方や関東地方の周辺地理を把握する上で、名称の不一致は重要な学習ポイントとなります。
問2	答え 1 火山灰が堆積してできた土壌で、水はけが非常に良いため、水田に必要な水を溜めにくい。	火山灰からなる関東ロームは粒子が細かく、透水性（水を通す性質）が非常に高いのが特徴です。そのため、地表に水を溜める必要がある稲作には不向きであり、代わりに排水の良さを活かした野菜栽培などの畑作や、果樹園、茶園として広く利用されてきました。
問3	答え 1 政治や経済の中核機能が集中し、就業や通学の機会が多いため	東京都には中央官庁や企業の公署、大学などの教育機関が密集しています。このため、昼間には仕事や学びのために埼玉県や千葉県、神奈川県などの周辺地域から生産年齢人口を中心とした膨大な人数が移動してきます。その結果、昼間人口が夜間人口を大きく上回る「昼夜間人口比率の高い都市」としての特性が生まれます。
問4	答え 1 沼田駅付近から北東にある沼田城跡（公園）に向かうには、等高線が密集している急な斜面を登る必要がある。	地形図において等高線が密集している部分は傾斜が急であることを示します。標高約331mの駅付近から、標高417m以上の城跡（公園）へ移動するには、段丘崖と呼ばれる急斜面を通過しなければなりません。川は高い方（北東）から低い方（南西）へ流れるのが自然であり、また、歴史的な市街地は水害を避けるために段丘上の高台に形成されています。
問5	答え 1 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区	地形図上で建物が密集し、路地が複雑に入り組んでいる様子は、都市計画が進む以前からの古い町並みが維持されていることを示唆しています。浦安市においては、旧町役場周辺などに漁師町としての伝統を残す商店街や古い建物が見られ、これらは直線的な道路が並ぶ埋立地（新市街地）の景観とは明確に区別されます。地形図の読図を通じて、その土地の歴史的な成り立ちを推察することが可能です。
問6	答え 1 都心部と比較して郊外は地価が安いいため、住宅を求める人々が流入しやすいから。	都市の人口移動には地価が大きく関わっています。都心部（渋谷区など）は利便性が高い一方で地価が極めて高いため、一般の世帯が住宅を取得することが困難です。そのため、都心部と比較して地価が安い郊外（八王子市など）に住宅を求める人々が流入し、結果として郊外の人口が増加する要因となります。このように、地価の差は居住地の選択において決定的な役割を果たします。
問7	答え 3 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、成田国際空港のような空の港では、重量が軽く、かつ価格が高い「高付加価値製品」が多く扱われます。具体的には、半導体等製造装置や電子部品、医薬品などが挙げられます。一方で、自動車や鉄鋼は重量があるため、主に名古屋港などの海の港から船舶で輸出されます。